

福井県板金工業組合青年部

銅板甲冑制作プロジェクト

～ 若手板金職人の挑戦～

< 背景 >

建築板金の組合員数の減少、技能者の高年齢化や後継者不足など業界の存続が問われる中、福井県板金工業組合青年部員にて、建築板金業界の魅力を伝える方法を考えました。

< なぜ甲冑か？ >

高度な板金加工の技能を魅せるモノを探す中で、越前時代行列のイベント及び甲冑に着目。福井ゆかりの柴田勝家公の肖像画を元に、現代人が着用できるサイズで制作しました。素材には銅を使用（寺社などの建築物から日用品や美術品などに使われる加工性能の優れた素材です。その分様々な技法で加工技術と経験が必要になります。）

< 甲冑制作プロジェクトの狙い >

建築板金という業界の認知度の向上、子供たちに見てもらい、建築板金を知ってもらう。技能を習得する場が減少してきた銅板加工、鍛金技術の青年部員への継承。目的意識を持った団結による組合全体の組織力強化。

< 甲冑制作 >

2011年 秋 企画・構想のまとめ。青年部役員にて事前準備開始。

2012年 春 青年部全体会議にて制作部位ごとのユニットわけ。

2012年 夏 各部位の試作、サイズやデザイン、バランス調整。

2013年 1月 各部位の本制作開始。

2013年 3月末 甲冑完成

< 甲冑の見どころ >

鎧兜の優雅な曲線、直径5mmと3mmの輪を組み合わせた鎖など、全て銅の板、銅の線から青年部員の手仕事にて作りだされました。建築板金技能の集結をご覧ください。

重量：約15kg（生地・威し紐含む）

< PR活動としての甲冑 >

地元テレビ・新聞にて取り上げていただき、時代行列時にも展示させていただきました。今後は一般の方・子供たちに見てもらえる、常設の展示ができる場を探していきます。